

事前説明時における主な意見

- ① 豊中市が「子育てしやすさNo.1」を目指して子育て世代に向けて取り組んできた施策は、一定の成果がデータからも見られる。今後の課題は、このような施策の効果や影響をどのように他の世代へと波及させていくかにある。
- ② 豊中市の「子育てしやすさNo.1」施策については、一定の成果がデータからも見えてきている。今後は、こうした成果をよりリアルな市民の声として可視化し、インタビューやアンケートを通じて根拠ある情報として発信していくことが求められる。
- ③ 待機児童は依然として課題であり、保育環境へのさらなる投資が必要である。保育園の受け入れ枠の拡充、保育士の確保、施設の整備など、どの部分に重点を置くかを明確にし、自治体だけでなく民間保育所との連携も視野に入れた対応が求められる。保育士の待遇改善や働きやすい環境づくりは、保育の質の向上にも直結する。また、豊中市の緑豊かな環境を活かし、運動場のある保育園の整備など、地域資源を活かした保育の充実も期待される。
- ④ 病児保育の受け入れ体制の強化や、一時的な保育支援制度の整備など、再就職を目指す保護者への支援も重要である。保育園に入れることだけでなく、預かり時間中の教育内容の充実も含め、子育て支援は親の生きがいにも密接に関わるものであり、保護者のニーズを丁寧に把握することが求められる。

- ① 公共施設やインフラの更新は、計画的に実施しても実際に完了するまでに長期間を要する。そのため、定期的に計画の見直しをすることで、トレンドや子どもの人口の減少などの傾向を見据え、過剰投資にならないように対応していく必要がある。
- ② 公共施設の機能の集約は長期的事業になることが想定される。そのため、今後の人口減少を見据えたうえで、持続可能な施設運営のあり方や、地域全体の利便性をどう確保していくか慎重に検討する必要がある。また、近隣自治体との連携にとどまらず、互いに意思をもって共創していく姿勢が、これからのまちづくりにおいて重要になってくるのではないかな。
- ③ 老朽化するインフラの点検において、狭い場所、足場が安定しない場所などに今後ドローン等の導入を調査・検討してもいいのではないかな。

- ① 豊中市は現在、治安の良さに定評があり、それが市の強みとなっている。今後もこの治安の良さを維持し、低下させないことが重要。
- ② 快適な空間づくりはコミュニティの質にかかわるので、緑が多い環境や交通利便性が良いという現在の強みをさらに強化すれば、よりよい市になっていくと思う。
- ③ 自主防災組織の組織率が上昇していることは良い傾向だが、自治会加入率が低いことは課題。ほかのコミュニティがあるため自治会に加入しないことも考えられるが、地域の防災や防犯を下支えするためには自治会のコミュニティは必要になってくるのではないかな。

- ① 「Well-beingロングインタビュー等による詳細分析」については、分析を行うだけでなく、その結果を踏まえて今後どのようなことに取り組んでいくのかが取組の方向性になると思うので、書き方を工夫したらどうか。
- ② Well-being調査分析においては、北部地域、中部地域、南部地域といった地域別にみることも有効ではないか。豊中市では地域ごとに地域特性や抱えている課題が異なるため、それぞれの地域ごとにアプローチ方法や政策の優先順位が異なることも考えられる。
- ③ 今後データが溜まってきた場合、単年度の数値だけではなく推移をみながら、どんな施策に効果があったのか(なかったのか)をみていく必要があるのではないか。